

＜麦類＞ アブラムシ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
トレボン乳剤	I:3A	収穫14日前まで	2回以内	散布

＜麦類＞ スズメ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
キヒゲンR-2フロアブル	F:M03(M)	は種前	1回	塗沫処理

＜麦類＞ ハト

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
キヒゲンR-2フロアブル	F:M03(M)	は種前	1回	塗沫処理

＜麦類＞ 赤かび病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
イオウフロアブル	I:UN/F:M02(M)	発病前～発病初期	-	散布
サルファーズル	I:UN/F:M02(M)	発病前～発病初期	-	散布
トリフミン水和剤	F:3(G1)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル	F:3(G1)	収穫7日前まで	3回以内	散布
石灰硫黄合剤	I:UN/F:M02(M)	-	-	散布

＜麦類＞ 赤さび病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
イオウフロアブル	I:UN/F:M02(M)	発病前～発病初期	-	散布
サルファーズル	I:UN/F:M02(M)	発病前～発病初期	-	散布

＜麦類＞ うどんこ病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
イオウフロアブル	I:UN/F:M02(M)	発病前～発病初期	-	散布
トリフミン水和剤	F:3(G1)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル	F:3(G1)	収穫7日前まで	3回以内	散布
石灰硫黄合剤	I:UN/F:M02(M)	-	-	散布

＜麦類＞ さび病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
石灰硫黄合剤	I:UN/F:M02(M)	-	-	散布

＜麦類＞ なまぐさ黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
トリフミン水和剤	F:3(G1)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類＞ 裸黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
トリフミン水和剤	F:3(G1)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類＞ 斑葉病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
トリフミン水和剤	F:3(G1)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類(小麦を除く)＞ 赤かび病

1. 収穫後の発生を防ぐため、子実は速やかに乾燥させる。
 2. 病原菌は人畜に有害なかび毒（デオキシニバレノール）を生産するため、薬剤による防除を徹底する。
 3. 出穂揃いの5日目前後に1回目の薬剤散布を実施し、さらにその5～7日後に2回目の防除を行う。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫30日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)	散布

＜麦類(小麦を除く)＞ 赤さび病

1. 出穂始めから乳熟期の発病初期に薬剤を散布する。
 2. 必ず展着剤を加用し、収量、品質に影響の大きい出穂後の防除を重点的に行う。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布

＜麦類(小麦を除く)＞ うどんこ病

1. 出穂始めから乳熟期の発病初期に薬剤を散布する。
 2. 必ず展着剤を加用し、収量、品質に影響の大きい出穂後の防除を重点的に行う。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫30日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)	散布

＜麦類(小麦を除く)＞ 条斑病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類(小麦を除く)＞ なまぐさ黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類(小麦を除く)＞ 裸黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類(小麦を除く)＞ 斑葉病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

＜麦類(大麦、小麦を除く)＞ アブラムシ類

1. アブラムシ類は穂に多く寄生するので、出穂前後の防除が特に重要である。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミチオン乳剤	I:1B	収穫14日前まで	1回	散布

＜麦類(大麦、小麦を除く)＞ ムギキモグリバエ

1. ムギキモグリバエが多く発生する時期は年により異なるが、3～4月中旬ごろの発生を重点に防除する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミチオン乳剤	I:1B	収穫14日前まで	1回	散布

＜小麦＞ ムギダニ

1. ムギダニは早期発見に努め、発生初期を重点に防除する。
2. 2～3月頃乾燥した年に多発する傾向がある。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
エルサン粉剤2	I:1B	収穫7日前まで	4回以内	散布

＜小麦＞ ヒトビウカ

1. ヒトビウカはイネ縞葉枯ウイルスをイネに媒介する。
2. 4～5月にコムギで増殖した本虫は6月に水田に移動する。
3. イネ縞葉枯病の発生地域では、幼虫発生期の5月中旬に薬剤を散布する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
エルサン粉剤2	I:1B	収穫7日前まで	4回以内	散布
トレボン粉剤DL	I:3A	収穫14日前まで	2回以内	散布

＜小麦＞ ヒトビウカ幼虫

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アブロード水和剤	I:16	収穫7日前まで	3回以内	散布

＜小麦＞ アブラムシ類

1. アブラムシ類は穂に多く寄生するので、出穂前後の防除が特に重要である。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アドマイヤー顆粒水和剤	I:4A	収穫14日前まで	2回以内	散布
エルサン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	4回以内	散布
スミチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	1回	散布
セフィーナDC	I:9D	収穫前日まで	2回以内	散布

＜小麦＞ ムギキモグリバエ

1. ムギキモグリバエが多く発生する時期は年により異なるが、3～4月中旬ごろの発生を重点に防除する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
エルサン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	4回以内	散布
スミチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	1回	散布

＜小麦＞ 赤かび病

1. 赤かび病の収穫後の発生を防ぐため、子実は速やかに乾燥させる。
2. 病原菌は人畜に有害なかび毒（デオキシニバレノール(DON)）を生産するため、薬剤による防除を徹底する。
3. 必ず展着剤を加用し、収量、品質に影響の大きい出穂後の防除を重点的に行う。
4. 早期発生時や、常発地では、3月下旬～4月上旬に防除を必要とする場合がある。
5. 出穂揃いの5日前後に1回目の薬剤散布を実施し、さらにその5～7日後に2回目の防除を行う。
6. 麦類の赤かび病の項も参照する。
7. シルバキュアフロアブルを散布する場合は、周辺農作物に対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意すること。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
シルバキュアフロアブル	F:3(G1)	収穫7日前まで	2回以内	散布
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25	F:3(G1)	収穫3日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)	散布
ミラビスフロアブル	F:7(C2)	収穫7日前まで	2回以内	散布

＜小麦＞ 赤さび病

1. 必ず展着剤を加用し、収量、品質に影響の大きい出穂後の防除を重点的に行う。
2. 早期発生時や、常発地では、3月下旬～4月上旬に防除を必要とする場合がある。
3. 出穂前及び出穂始めから乳熟期にかけて薬剤を散布する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフエットフロアブル	F:7(C2)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25	F:3(G1)	収穫3日前まで	3回以内	散布

<小麦> うどんこ病

1. 必ず展着剤を加用し、収量、品質に影響の大きい出穂後の防除を重点的に行う。
2. 早期発生時や、常発地では、3月下旬～4月上旬に防除を必要とする場合がある。
3. 出穂前及び出穂始めから乳熟期にかけて薬剤を散布する。
4. 麦類のうどんこ病の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25	F:3(G1)	収穫3日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)	散布

<小麦> 条斑病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

<小麦> なまぐさ黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

<小麦> 裸黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

<小麦> 斑葉病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	10～20分間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	6～24時間種子浸漬
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	は種前	1回	種子粉衣

<大麦> アブラムシ類

1. アブラムシ類は穂に多く寄生するので、出穂前後の防除が特に重要である。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	1回	散布

<大麦> ムギキモグリバエ

1. ムギキモグリバエが多く発生する時期は年により異なるが、3～4月中旬ごろの発生を重点に防除する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	1回	散布

<大麦> 赤かび病

1. 麦類の赤かび病の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
シルバキュアフロアブル	F:3(G1)	収穫14日前まで	2回以内	散布
チルト乳剤25	F:3(G1)	収穫21日前まで	1回	散布

<大麦> うどんこ病

1. 麦類のうどんこ病の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
チルト乳剤25	F:3(G1)	収穫21日前まで	1回	散布